

『第1回 理科教育賞』の候補に、5校が決定致しました!

日産財団 「理科教育賞」

子ども達の科学的思考能力や、教師の指導力を向上させる教育実践において、多大な成果をあげ、かつ成果の波及効果が期待できる実践に『理科教育賞』を授与します。

その中で、特に2年間の実践による「学びの質の向上」が大きいと判断された実践を『大賞』に認定します。

大賞 : 100万円 理科教育賞の中から1件 (該当なしの年もあり)
理科教育賞 : 50万円 各県から1件を選出

神奈川県 横浜市立立野小学校

『ともにかかわり合いながら「自分づくり」をすすめていく子の育成』

「子どもはよりよく生きていこうとする存在である」という子ども観に立ち、子ども自らが、自分の生き方を見つめ、人の生き方に学び、よりよく生きていこうとする営みを大切にしている。このような営みを「自分づくり」ととらえ、子ども一人一人が、今ある自分に自信をもちながら、更に伸びようとしていく姿に寄り添い、支えていくことを大切にしている。様々な自然事象との出会いを大切に、子どもが主体に問題解決の活動を展開できるような理科学習の在り方について考える。



神奈川県 東海大学附属本田記念幼稚園

『知的財産教育 (創造性の教育)』

近年子どもたちの科学離れが深刻な問題となってきた。今日的な課題は、主体的・独創的思考力の育成こそが学びの原点であり、科学離れを止める手段でもあると考える。思考力の芽生えを育む環境とは「自ら考え、自ら選択し、自ら体験し、自ら伝え合える」ことが重要である。そこで、毎年11月に行っている知的財産教育 (=創造性の教育) の『レッツ・サイエンス』の活動を中心に、思考力の芽生えを育む環境づくりや、教師の指導法について調査する。



神奈川県 横浜市立井土ヶ谷小学校

『自然を読み解く力を育てる表現と学び合い ~問い続け、学び続ける子ども~』

子どもたちは、生活のなかで様々な問いをもつ。その問いに、自分なりの予想をもち、その予想をもとに観察したり、詳しく調べてみたりしながら答えを導きだしていく。ときには、間違ったり、上手くいかなかったりすることもあるけれど、何度も何度もあきらめずに、考え直したり、予想を立て直したりしながら、飽くなき探究心で答えを導き出そうとする。答えにたどり着くと、また、次の問いが生まれる。

このように、自分で問いをもち、自分の納得のいく答えにたどり着くまで、「問い続け、学び続ける子ども」を本校では大切にしている。そこで、問い続け、学び続ける子どもの姿を育てられるよう、生活・理科を中心に授業づくりに取り組んでいる。



** 贈呈式での候補校による成果発表の後、大賞と理科教育賞が決定します **

福岡県 筑後市立水田小学校
『問題解決力を育てる理科学習指導法の改善』



理科離れが問題視される現状の改善や本校の児童に不十分な、問題解決力、科学的思考力を育成するためには、「分かる、できる、楽しい」理科学習指導の充実が必要だと考える。

そこで、「問題解決活動」「自然体験活動」「製作活動」等の体験活動を重視した学習指導方法の工夫改善に取り組む。研究内容としては、学習過程の工夫、学び方の育成計画の作成、教材教具の開発、指導方法の工夫等があげられる。

この実践を通して明らかにする指導方法や児童が身に付けた学び方、問題解決力は、理科学習指導のみならず、他教科の学習指導にも生かすことができると考える。

栃木県 宇都宮市立瑞穂台小学校
『中学校理科につながる科学的な追究の場と体験的な理解の場の工夫』

中学校理科での理解を深めるために、小学校理科での科学的な追究場面、また科学的な知識を理解していく場面において、授業の改善を試みた研究である。

新学習指導要領では、小中学校で学習内容を2分野に統一するなど今まで以上に小中の一貫した理科教育が意識された内容構成となった。そこで、小学校4年間の理科学習の理解度、および学習記憶の実態から、児童がより効果的に科学に裏づけされた知識を理解していくための授業の方法について見直すことにした。

特に本研究では、
・科学的・論理的に自然事象について追究していくこと
・より合理的な体験活動によって正しい知識を身につけていくこと

の2点を「納得と記憶」というキーワードにして授業を行うことで中学校で生きる科学的な知識をしっかりと児童が身に付けることを目的としている。



各候補校の成果報告書は、日産財団のホームページからご覧いただけます

第1回理科教育賞贈呈式
2012年度助成校贈呈式

日時: 7月26日(金) 13:00~17:00

場所: 日産グローバル本社 日産ホール (神奈川県横浜市)

<主な内容>

- ・第1回理科教育賞の候補校による成果発表会、受賞校の決定と贈呈式
- ・2012年度助成校の学校名紹介と、各県代表者への贈呈書贈呈
- ・講演: 美馬のゆり教授 (公立はこだて未来大学) 『理系女子的生き方のススメ』 著者
- ・日産自動車出張授業の紹介、助成校の成果パネル展示など